



**卒所、修了式 おめでとうございます！** 所長 外館 昭良

春色のなごやかな季節、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。とても残念ですが新型コロナウイルスの流行を心配しています。手洗いなど予防にこれからも十分に気を付けて行きたいと思っております。一日でも早い終息を願っています。

さて、早いもので令和元年度が間もなく終わりを迎えようとしています。今改めてこの一年を振り返ると、三つの事業所を統括する立場として、皆様にご迷惑が掛からないようにしなければと思い自分なりに一生懸命に取り組んできたつもりですが、至らない点が多々あったと思います。しかし皆様の心優しいご対応とご理解ご協力を持ちまして、新型コロナウイルスの影響により変則ではありますが『卒所、修了式』を迎えることができたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

保育所のお友だち達と初めて出会った頃は、このおじさんはどこの人？って不思議な顔をして見られていましたが、今ではすっかり慣れてくれ一緒に遊んだり、お話をしたりしています。

子ども達に無理がかからないように少しずつ進めてきた『こま回し挑戦』も、3事業所を合わせると11人の『こま名人』が誕生することができました。たかがこま回しですが、されどこま回しです。コマにひもをうまく巻かないとこまは回ってくれません。こま回しで最初に出会う難関です。上手にできなくてイライラすることもあったと思います。悔し涙を流した事も、また、投げ出してしまったこともあったと思います。でもそれでいいんです。自分からこまを回してみたいと思い、自分で挑戦することを決めてチャレンジしたこと自体が、とても大切だと思います。この気持ちを持ち続けていればいつか自分が本当にやりたいことを発見した時に、自分で決断し、自分でその道を探求していく力になっていくと思います。昔の人は『かわいい子には旅をさせよ。』といました。たとえ話ですが、ずっと親元において甘やかすのではなく、知らない土地で苦労させることで、たくましく育つという意味です。頼る人がなく何でも自分の力でやらなければいけなくなった時に挑戦する心が強い味方になってくれるはずなんです。これもたとえ話ですが、転ばぬ先の杖ばかりついていると、杖がないと歩けなくなってしまいます。『かわいい子には旅をさせよ。』で、もしもお子さんが窮地に立たされた時に、お父さんお母さんの出番です。それまでの努力を認め、たくさんほめてあげてください。そうすることで、お子さんは心のエネルギーを満タンにして、また、前進してくれるはずです。



**一年間の思い出のアルバム**

たくさんのおもいでができましたね！うれしかったこと。たのしかったこと。わすれないでね！

